巻頭特集 東員町発ミュージカル with 演劇集団ローカルスーパースターズ

町の魅力をミュージカルで伝えたい!

「身近な人にとってのスーパースターでありたい」と活動する演劇集団ローカルスーパースターズ。

毎年、東員町で町民を含む一般参加者とともに、地元を舞台にしたオリジナルミュージカルを上演しています。

今年は、11 月 25、26 日。会場のひばりホールを笑顔で包むべく、

老若男女さまざまのキャストが、同じゴールに向かって稽古に励んでいます。

ピクニックシーン。小道具を使ってどんな動きがいいかを試行錯誤しながら、楽しいワンシーンを作り上げていきます。当日、どんな風に仕上がっているかお楽しみに

東員町を題材にしたオリジナルストーリー

「ミュージカルを通して、東員町が大好きになりました。題材にした上げ馬神事や北勢線は、誰よりも知っていると自信がありますね」と笑顔で話すのは、演劇集団ローカルスーパースターズ代表で脚本・演出を手掛ける野村幸廣さん。脚本家のプロへの登竜門として知られる「宝塚ミュージカルコンクール」で、金賞を受賞した経歴を持つ人物です。「演出家としての成長には、核となる劇団が必要」と、立ち上げたのが演劇集団ローカルスーパースターズ。四日市を拠点に、ミュージカルを届けています。

東員町発ミュージカルは2013年、東員町からのオファーがきっかけでした。「東員町ならではの作品を届けたい」と脚本制作のため、近隣住民に取材をしたり町の歴史を調査したりした野村さん。そこで出合ったのが、猪名部神社の上げ馬神事でした。「歴史があり、完成された祭りに感動しました。舞台では、祭りそのものは描きません。祭り当日の朝に何を食べ、どんな風に送り出されたかなど、馬に乗る子や親の気持ちなど、私たちの身近な日常と重なるストーリーを描きました」。地域の人から耳にした黒駒伝説や女相撲なども劇中劇のコメディーとして採用。笑いあり、踊りあり、歌ありの本格的ミュージカル『天高く馬跳ぶ春』を生み出しました。

迎えた第1回、関係者の心配をよそに、チケットは1カ月以上前に完売。祭りに関わる人々にスポットをあてた物語は、ひばりホールに足を運んだ観客700人からの拍手喝采を浴びました。

身近な人が出演者に選ばれた地域住民が参加

舞台には、オーディションで選ばれた地域住民も出演。今年は22人のうち、9人が一般参加者です。5回目を迎え、ダンススクールに通っている人や芝居経験者など、参加者のレベルは年々上昇。だれが一般人なのか分からないほどのクオリティーです。参加者たちは顔合わせが行われた8月から毎週末、朝から夜まで団員とともに稽古に励んでいます。

団員と一般参加者の垣根を越えて制作に打ち込む4カ間は、厳しい意見が飛び交うこともしばしば。「さまざまな経験を積んできた大人が、喜怒哀楽を歌やダンスのミュージカルで表現するのは難しい。けれど、大人が全力で取り組むからこそ、多くの人の心に残るんだと思います」と野村さん。タイミングや細かい動作、表情、立ち位置など、一つひとつを試行錯誤し、時間をかけて作りこんでいきます。「なぜその動作が必要なのか、なぜ動けないのかという基礎から取り組む機会は、団員にとっても勉強になっていて、このミュージカルの面白さでもありますね」とほほ笑みます。

東員町に住む中学3年生の山崎さくらさんは、今年で4回目の挑戦。東員町の子ども歌舞伎にも出演していた縁で、ミュージカルに参加しています。「歌舞伎とは違って型がなく、自分たちで全てを作り上げていくのが難しい。けれど、ダンス、歌、お芝居、いろんなことをして、一つの小さいストーリーが大きなストーリーになる。その過程に携われているのがうれしい」と、満面の笑みで教えてくれました。

「初めは何の経験もない自分が舞台に立つなんて考えてもいませんでした。毎年、価値がある舞台にするために、自分の立ち位置を見つけるためにもがいて苦しんでいます。日常生活にはない世界が経験でき、『よかったよ』といただける拍手には感動します」と話すのは、町職員で初回から参加している早川卓磨さん。「野村さんは、古くから東員町に住んでいるんじゃないかってぐらい、町のことをよく知っています。『天高く馬跳ぶ春』は、東員町の魅力をぎゅっと詰め込んだ作品。自分の住んでいた町をじっくり知る機会は意外と少ないと感じました。壮大な夢物語ではなく、どこの家庭でも起こりうるストーリーだと思うので、共感しながら見ていただければいいですね」と続けます。

東員町の宝物を再発見 町制50周年記念公演

毎年、異なる作品を上演してきましたが、今年は、東員町町制施行50周年を記念して、好評だった『天高く馬跳ぶ春』を再上演。「見どころは全部。タップダンスなどにも挑戦し、5年目の成果を見せたいと思います」と野村さんは意気込みます。

今年は3回公演で、2100人の人に見てもらう予定。「地元の人は、『東員町には何もない』っていうけれど、私にとっては練習のために員弁川を車で渡ってくるだけで気持ちがいいぐらい大好きな町。今作も東員町の宝物を再発見していただけるようなミュージカルになっていると思います。メンバーは、満席の舞台を目標に頑張っていますので、ぜひ見に来てください」と呼びかけます。

エンディング曲の冒頭は、「宝物はどこにある」という歌詞で始まる東員町発ミュージカル『天高く馬跳ぶ春』。みなさんも地域の魅力を探しに、ひばりホールへ足を運んでみてはいかがでしょうか。

上）今年のキャストは21人。劇団員と地域住民とで町制50周年を祝うミュージカルを披露します　左）『天高く馬跳ぶ春』のワンシーン。「2013年よりもパワーアップした公演を見せたい」と意気込みます

左）練習は毎週末、9時～21時まで続きます。振り付けや歌唱などは、外部のプロが指導に訪れます　中）自分たちで動きを考えながら演じるミュージカル。練習中も自然と笑顔が生まれます　右）子育て中の団員も多い演劇集団ローカルスーパースターズ。子どもを背負いながら練習に励む人もいるほど、練習時間を無駄にせず、真剣に取り組んでいます

劇団員の方は、技術とともに舞台に立つ思いや姿勢を教えてくれます。公演というゴールが一緒なので、年齢差があっても一体感が生まれています

東員町職員
早川卓磨さん

ミュージカルの舞台は、普段見せない一面を見せられる場所。これまで以上に細かい表現力や技を取り込み、自分の中での最高を見せたいです

東員町在住
山崎さくらさん

頑張ることによって、町のみなさんが喜んでくれるのがこのミュージカルのやりがいです。東員町は行政と町民が近く、温かいです

演劇集団ローカルスーパースターズ
代表　野村幸廣さん

INFORMATION

東員町 町制施行50周年記念事業
東員町発ミュージカルwith
演劇集団ローカルスーパースターズ
『天高く馬跳ぶ春』

日時:11月25日（土）13:30／17:30開演
11月26日（日）14:00開演
※開場は全公演とも30分前
場所:東員町総合文化センター
ひばりホール
料金:2,000円（全席自由席）
チケット取り扱い場所:
東員町総合文化センター・笹尾連絡所・
星川サンシティインフォメーション・
演劇集団ローカルスーパースターズ
問い合わせ:東員町総合文化センター
☎0594-86-2816

文・写真／青野穂波　写真提供／演劇集団ローカルスーパースターズ　デザイン／ABBEY ROAD